

『火の鳥』のマンホール蓋を設置し、記念品を配布します

道後REBORNプロジェクトとコラボレーションして、『火の鳥』をデザインしたマンホール蓋を、7月19日に道後温泉本館前広場へ設置しました。設置を記念して、8月15日(土)から「道後温泉別館飛鳥乃湯泉」に入浴した先着600人に、『火の鳥』のマンホール蓋をデザインした、限定の湯上がりバッグとコースターを記念品としてプレゼントします。
※記念品が無くなり次第終了



記念品のバッグとコースター



設置場所→

☎下水道政策課 948-6533 ・ FAX 934-5862

坊っちゃん文学賞 presents 誰でも書けるショートショート講座 in 松山

「第17回坊っちゃん文学賞」の審査員長を務める、現代ショートショートの旗手・田丸雅智さんを講師にお迎えして、ショートショートの書き方を学ぶイベントを開催します。ワークショップで書いた作品を「坊っちゃん文学賞」に応募することも可能です。

日時 9月4日(金)18時30分～20時30分、9月5日(土)13～15時 ※各回、同じ内容です
会場 松山市民会館(堀之内)小ホール
対象 どなたでも
定員 各回50人(抽選)
料金 無料



田丸雅智さん

申し込み 8月14日(金)(必着)。往復はがき・eメール。住所、氏名、年齢、電話番号、メールアドレス(あれば)、参加人数、希望日、オンライン(Zoom)での開催となった場合の参加の可否を〒790-8571文化・ことば課「坊っちゃん文学賞」係 bocchan@city.matsuyama.ehime.jpへ ※ワークショップへの参加は、坊っちゃん文学賞の作品選考に一切影響はありません

☎文化・ことば課 948-6634 ・ FAX 934-1913

第2日曜日にマイナンバーカード専用窓口を開設します

日時 8月9日、9月13日、10月11日 8時30分～17時(受け付けは16時30分まで)

会場 総合窓口センター(市民課〈市役所本館1階〉)
内容 マイナンバーカードの申請や受け取り、電子証明書の更新など

※住所異動や戸籍届出などのマイナンバーカード以外の手続き、マイナポイントの予約・申し込みは受け付けできません

申し込み 申請時の顔写真無料撮影サービスを希望する人は、前日までに電話で市民課予約専用ダイヤル☎948-6088へ

☎市民課 948-6569 ・ FAX 934-1801



新型コロナウイルス感染症拡大の影響で

アルバイト収入などが大幅に減り、学費など修学のための費用が必要になった人

学びを続ける学生さんを応援します!

市特例奨学資金貸付制度

【貸与する奨学資金】 学費など修学に必要な費用に応じて、30・50・70・90・110万円を無利子で貸与

【予定人数】 200人程度

【対象】 本市在住または*本市出身で、大学・短期大学・大学院・高等専門学校(第4・5学年)・専修学校(専門課程)に通う学生

*7月9日現在本市に1年以上在住している人の子弟で、本市で前期または後期中等教育課程(中学校または高等学校)を修了した人

【貸与の条件】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響でアルバイト収入や家庭からの援助が半減し、修学が困難になっていること。連帯保証人(住民税または固定資産税が賦課され、滞納がなく、独立した生計を営む成年人)1人が必要

【申請期間】 12月28日(月)まで(消印有効)

【申請方法】 直接または郵送。申請書と関係書類(教学校教育課〈市役所第四別館3階〉、市内の大学など、市ホームページにあり)を、〒790-0003三番町六丁目6-1(教学校教育課奨学金担当へ) ※詳細は市ホームページ、または問い合わせ先に確認



☎(教)学校教育課 948-6869 ・ FAX 934-1815

☎まちづくり推進課 948-6963 ・ FAX 934-1821



設立総会の様子

地域住民や団体が連携して組織するネットワーク型の住民自治組織のうち31地区で設立されています。素鷲地区では7月6日に協議会を設立。地域の宝を生かした素鷲地区ならではのまちづくりを進めます。市はまちづくりのパートナーとして、引き続き協議会と連携してまいります。

素鷲地区まちづくり協議会が設立され、会長に就任いたしました。本会は、公民館・地区民協・社協など多様な団体でネットワークをつくり、素鷲地区の魅力を向上させ、地域の発展を推し進める組織です。心ときめく素鷲地区をつくるため、これから皆さんと一緒に歩んでいきたいと思っております。



会長 吉田 稔さん

心ときめく素鷲地区をつくる

素鷲地区

「私たちのまちは私たちの手で!」
まちづくり協議会を新たに設立

6月26日、国際ソロプチミスト松山から松山水源の森基金へ寄付金をいただき、本市から岩崎喜代子会長へ感謝状を贈呈しました。野志市長は、「水源を保つことはとても大事。毎年、寄付をいただき、とてもありがたい」と謝辞を述べました。松山市水源の森基金は、主に放置された竹林を広葉樹に植え替える「新たな水源かん養林事業」の財源として森林整備に活用されています。



感謝状贈呈式の様子

「松山市水源の森基金へ寄付をいただきました」

☎水資源対策課 948-6947 ・ FAX 934-1886